

推工佐藤善久六、三六〇一〇、一三三、七、
 計 八名、二七〇、六六三、五八〇、一六

(別記三)

嘆願書

先日支給問題ニ付キ、吾等従業員ニ御相談カアリマシク、
 二三名ノ反對者カアリタシテ御返事カ達シマシク、先今御解雇ノ發表ヲ見ルニ
 至リテ又、吾等従業員ハ實際現況ノ不況時代ニ於テハ、会社ノ苦境ハ余リクモ知リ道
 中ヲ居テ、又故ニ經濟ノ節減ト敬首ニ己テ解ナリモノナルカ日頃兄弟同様ノ
 ニテ居テ従業員ノ名カ突然解雇セシメテ、世中ニ放リ出サレル事ハ見
 ルニ忍ビナリ、故ニ今従業員一同ハ解雇者八名ノ人権貴ク負擔致スコトヲ決定
 致シ、是非解雇者全員ノ復讐スル様申考、處テ願ヒマス

昭和五年九月八日

従業員一同

日本鉸釘株式会社社長渡辺行太郎殿

5. 9. 19
1700

勞務第三二一〇號

昭和五年九月十八日

警視總監

吉

内務大臣 安達謙藏殿
 社會局長官 吉田茂殿

日本鉸釘株式會社ノ勞働爭議ニ關スル件(第二報)

要旨

従業員側ハ十日數額減額ヲ要求シ、五月事業主ヨリ數額ハ減額
 廿四答アリタルカ、
 上提出スルコトセリ

標記勞働爭議ハ勞資共ニ
 通就業ニシテ穩健ニ交渉
 左記ノ通

記